

☆☆図書委員会よりお知らせ☆☆第3号☆☆

2012年1月(後期)～2012年3月 新規登録の書籍をご案内します

新規購入 書 名	著者名など	出版社	分類シール
さんびかものがたりV 平和の道具と信仰生活の歌	川端純四郎 著	日本キリスト 教団出版局	[茶 196. 5 Ka]
改革派教会信仰告白集 IV・V	大崎節郎 編 大宮溥 他 訳	一麦出版社	[茶 198. 386 Oh]
水牛神学 アジアの文化のなかで福音の真理を問う	小山晃佑 著 森泉弘治 訳	教文館	[赤 191. 022 Ko]
その時、教会は－3.11 後を生きる 証言 2011年3月11日とそれに続く日々	信徒の友 編集部 編	日本キリスト 教団出版局	[茶 197. 6 Ni]
キリスト者として “原発”をどう考えるか (3.11ブックレット)	内藤新吾 著	いのちの ことば社	[茶 197. 6 Na]
日本メソヂスト教会 教義及條例資料	本田康一 篇	更新伝道会	[茶 198. 7 Ko]

(裏へつづく…)

おすすめ… 五十嵐成見牧師より

『聖書 原文校訂による口語訳』 - フランシスコ会聖書研究所訳注

「すべての人に理解されるように、飾らず、明解な表現と気品ある文体」(1956年の研究所祝別式における教皇大使の言葉)をこころがけてフランシスコ会聖書研究所が1968年に『創世記』を翻訳・出版して以来、分冊という形で少しずつ出版され、全ての聖書翻訳を終えたのち、遂に2011年に合本化・出版されたのが、この一冊です。日本におけるカトリック聖書神学の大成であり結実とも言えるでしょう。冒頭の言葉のように、平易でありつつ格調高い言葉が書き連ねられており、ミサにおいて「聞かれる言葉」として意識している翻訳になっています。聖書各巻の最初には、それぞれ「解説」が設けられており、各巻の全体像を俯瞰しつつ、御言葉の豊かな森の中に分け入っていくことができます。慣れ親しんだ新共同訳聖書と比較しながら読むのが何よりもお勧めです。訳注も豊富であり、御言葉の理解・黙想に大きな一助を得ることができます。訳注の中にはカトリック神学的な理解に基づいたもの(例えばマタイ16章の「ペトロの信仰告白」の所)もあるので、聖書と同じく慣れ親しんだ注解書を傍らにしながら、プロテスタントとカトリックの対話を楽しんでみるのもいいでしょう。

(サンパウロ 2011年)

『聖書 原文校訂による口語訳』(分類シール：橙 193 Fr禁)の購入登録は先号で紹介済みです。

鑑賞して…

『水牛神学』

—アジアの文化のなかで福音の真理を問う— 小山晃佑 著

「2012年1月号／本のひろば」の目次に小山晃佑著『水牛神学』のタイトルを見たとき、私は旧知の人に出会ったようにハッとしました。1960-70年、旧会堂で小山先生の礼拝説教を聞いた日のことをおぼえています。教団派遣の宣教師として北タイで働いておられた先生が日本に立ち寄られた折だったようです。内容はさだかではないのですが先生は「聖書の神は熱情の神です アチチとやけどする程熱い」そして「寄留者の神・やもめの神です」ともいわれました。その頃若草会例会で私たちは旧約聖書を創世記から読みはじめていたころでした。「アブラハムの神・イサクの神そしてヤコブの神…」 「聖書の神は人格神です」と大村勇牧師はいわれました。『水牛神学』 「—アジアの文化のなかで福音の真理を問う—」との副題のあるこの本が図書室に備えられたと聞き、よるこんでいます。小山先生のいわれた「熱情の神」が私たちの目を心を開いてくださいますように、今、祈禱会では創世記を読み、祈っています。(K.K)

小山晃佑 著作書は阿佐ヶ谷教会図書室内には『助産婦は神を畏れていたので』『愛は裏口ではありません』『しばしあなたをすてたけれども』があります。(いずれも分類シールは「茶」NDC8:190.4に基づく分類予定)

ご寄贈 書 名	著者名など	出版社	分類シール
愛と自由の福音 ヨハネ福音書講解説教	大宮溥 著	教文館	〔 緑 198.34 Oh 〕
聖書翻訳研究 No.32 Jul.2011	伊東寿泰 他 著	日本聖書協会 発行	〔 橙 193.09 It 〕
聖書セミナー No.15	中野実 他 著	日本聖書協会 発行	〔 橙 193.09 Na 〕
見えない世界の逆襲 生活人新書; 308 はじめての宗教論;右巻	佐藤優 著	日本放送出版 協会	〔 赤 191 Sa 〕
ナショナルリズムと神学 NHK出版新書; 336 はじめての宗教論;左巻	佐藤優 著	NHK出版	〔 赤 191 Sa 〕
定められし道のまにまに	川村菊枝 著	キリスト新聞社	〔 茶 198.321 Ka 〕

… 本を ご寄贈 … して下さる方へ

○「寄贈申込用紙」ができました。図書室内につり下げる形で設置していますのでご利用ください。

… お願い …

○月刊誌『信徒の友』は図書室の外に配架されていますが、教会外に持ち出さないよう、ご利用後は定位置にお戻しください。

… おすすめ … 文 を書いてくださる方へ

○阿佐ヶ谷教会図書室の蔵書、または購入希望書、寄贈希望書のおすすめ文を募集しています。感想文、証、解説など形は自由です。これは適宜図書委員会からの広報（本誌「☆図書委員会よりお知らせ☆」など）に掲載させていただきます。誌面の都合上、恐縮ですが選考させていただきます。